

教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

單位數： 2 單位

対象年次組：第 3 年次 1 組～ 3 組

教科担当者： (123組：山岸)

使用教科書： (教育芸術社 MOUSA 1

教科 教科 芸術

の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】

芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表现力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文法的、歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良きや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	・表現（歌唱） 【知識及び技能】 音楽の構造や曲想について理解を深めることができる。歌唱表現をするために必要な技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の課題に対して多角的に解決し、行動する。 【学びに向かう力、人間性等】	・教科書掲載曲を歌う。 ・発声練習を行い、身体の使用方や母音の口の開け方、子音の発音の注意点を学ぶ。 ・声変わりや自分の今の声域について知る。	○		○	・曲想と音楽の構造、歌詞の意味内容を理解して歌っている。（知） ・曲にふさわしい発声を理解し、工夫して歌っている。（思） ・咽喉、胸部、腹部など、身体の使用方を意識し、発声を行っている。（態）	○	○	○	10	
	・表現（ギター） 【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法や身体の使用などに留意して演奏し、表現に必要な技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、課題解決のための方法を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽を生活や社会に活かそうとし、主体的・協働的	ギターの構造、姿勢、各部の名称 ダイアグラム／タブ譜 音名とコード G, Em, D, C, Am, G/B, Bm7 ストロークの工夫 コード進行	○	○	○	【知識・技能】 必要な表現技能を学び、整理して定着させることができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して解決策を提案し行動、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12	
	B 単元 楽典（拍子とリズム） 【知識及び技能】 楽譜の基礎知識を学ぶ。拍子、リズムについて読譜の基礎事項を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な音楽を聴取し、身体を使ったリズム活動などを関連させて基本的なリズムの記譜法を学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な音楽の基本拍を聴き分けることで、多くのスタイルの音楽を知り、それらを楽しみながら音楽活動を行う。	・4分の4拍子の捉え方 ・音符の種類と基本拍・キーボードの構造 指使い ・五線と音高 ・リズムの記譜		○	○	・リズムと合わせて五線譜の音高を理解している。（知） ・指使いを考えながら、キーボードでメロディを弾けるようになる。（思） ・キーボード奏法や楽譜の学習したことを合わせて練習を自主的に楽しんで行うことができる。（態）	○	○	○	12	
2 学 期	・表現（リズム） 【知識及び技能】 創意工夫をした音楽表現をするために必要な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の課題に対して多角的に解決し、行動する。 【学びに向かう力、人間性等】	リズムの種類 音符、音価 パートの組み合わせ アンサンブルとは 音色の工夫 演奏の工夫 発表	○	○	○	【知識・技能】 必要な表現技能を学び、整理して定着させることができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して解決策を提案し行動、表現することができる。	○	○	○	10	
	を単元・ギター応用（発表） 【知識及び技能】 ギター基礎で学んだことを活かし、コードを弾きながら歌うことで、より音楽を包括的に感じ取り、表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 既知の曲をより自分らしい表現となるよう、発声や音楽スタイルを工夫して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 今までに得た演奏知識を使い、より豊かな表現ができるよう練習している。また、クラスのメンバーと協力あって練習している。	・弾き語りで表現する ・テンポ感、ストロークによる ビートの表現 ・音楽にふさわしい声を工夫する	○	○		・ギター弾き語りによって、より包括的に音楽の諸要素を感じ取り、それらがどのように関連しているか、理解している。（知） ・曲がどのような音楽的内容によって成立し、音楽になっているかを理解し、諸要素を自分で表現している。（思） ・一曲の練習にあたり、どのように練習するか、目論見を形成して主体的に取り組んでいる。（態）	○	○	○	10	
	F 単元 作曲（作品創作） 【知識及び技能】 音階について学習し、雰囲気をもった歌を創作する。 【思考力、判断力、表現力等】 歌詞のもつイメージと音階の雰囲気を含取させ、リズムや構成を工夫した音楽にする。また、それを書き残す。 【主体的に学習に取り組む態度】 詩を味わう、音階の響きを聴き取るなどして、表現の手がかりを想像力を使って構築している。	・五音音階、わらべうたの音階、 沖縄音階などを学習する。 ・詩を選び、音階を使った歌を創作する。	○	○	○	・音階の特徴や雰囲気を理解している。 ・音楽上の導入部や盛り上がる部分など、構成を考え、作品に活かそうとしている。（知） ・楽器を弾く、自分で歌うなど工夫を重ね、一つのまとまりを感じ取れる音楽に仕上げている。（思・表） ・他者に聴かせることができ、かつ、自分でも記譜を工夫している。（態）	○	○	○	12	
3 学 期	・表現 フロ・アンサンブル発表 【知識及び技能】 創意工夫をした音楽表現をするために必要な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の課題に対して多角的に解決し、行動する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現活動に取り組む。	コンテンポラリー・ミュージック 現代音楽と現代の音楽について 作曲家と作品 身近にあるコンテンポラリー・ミュージックを見つける	○	○	○	【知識】 必要な知識を学び、整理して定着させることができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して解決策を提案し行動、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10 合計 76	